

## ① 主な論文

中村浩志氏の論文で特筆されるは、1998年に米国の科学雑誌「Science」、2000年に英国の科学雑誌「Nature」に掲載されたカッコウの托卵研究に関するものだ。ともに世界で最も権威があるとされる科学誌として知られる。

信州大学時代、千曲川の河川敷で、かすみ網を使ってカッコウを捕獲。数多くのカッコウを捕獲して個体識別して托卵のメカニズムを解明した。当時、世界各国のカッコウの研究者は、カッコウが捕獲しにくい鳥であり、カッコウの生態の解明が進んでいなかった。中村氏は、個体識別とカッコウに発信器をつけて行動観察することで、カッコウは乱婚であることやカッコウの雌によって宿主の鳥がオナガやモズ、オオヨシキリのいずれかであることを突き止めた。

カナダ・マクマスター大学のリッスル・ギブズ教授が、鳥の血液から親子関係を解明する「DNAフィンガープリント法」の分析エキスパートであることを知り、共同研究を提案した。自らの研究成果を遺伝子レベルで検証したいと考えたからだ。

千曲川で捕獲したカッコウの成鳥とヒナからの血液の採集を始めた。3年間に集めた血液サンプルは、成鳥162個体（雄83羽、雌79羽）、ヒナ136個体。一つの地域で、短期間にこれだけ多くの個体からサンプルを採集するのは極めて異例のことだった。ギブズ教授は、血液サンプルを分析し、中村氏と共同でカッコウの謎を解明して、米英の二大科学誌での論文発表となった。

カッコウの研究で世界的な成果を挙げることができたのは、徹底的な個体識別をして生態を解明したからだ。この手法は、50歳を過ぎてから本格的に取り組んだライチョウの調査・研究でも生かされている。人を恐れないライチョウの性質を利用し、釣り竿の先にワイヤの輪をつけた捕獲器で、ライチョウを捕獲。調査フィールドの北アルプス・乗鞍岳では、2500羽以上に左右計4個の色違いの足輪をつけて個体識別し、ライチョウの寿命、家族構成、移動など、それまで確認できなかったライチョウの生態を次々に解明した。中村氏がライチョウの生態を詳細に解明しなければ、現在、環境省が取り組む保護増殖事業は実績を上げることができない。中村氏の功績は大きい。

## ② 主な書籍

中村浩志は、ライチョウの個体識別による生態解明や、四季を通じて北アルプス・乗鞍岳で調査・研究を続けた。近年、ライチョウが急激に生息数を減らしていることに危惧し、研究者だけでなく、この状況を一般にも広く知ってもらおうと、ライチョ

ウに関する数々の普及書を刊行している。その際、ライチョウの生息図や図表、写真を多用し、難解な専門用語をなるべく使わずに理解を深める工夫をしている。2006年に「雷鳥が語りかけるもの」、2013年に「二万年の奇跡を生きた鳥 ライチョウ」などを出版し、ライチョウ保護に関する普及啓発活動にもつながっている。

また、書籍だけでなく、「よみがえれ『神の鳥』」(制作著作・長野朝日放送)、「ダーウィンが来た! ライチョウ幻の生息地復活作戦」(制作著作・NHK)など積極的にテレビ出演をして、ライチョウの現状を広く普及させた功績は大変大きい。

上記の通り中村浩志氏の業績は、ライチョウの研究はもとより、世界に稀なる日本の高山環境の保全についても一般に普及・啓発活動にもつながり、多岐にわたっている。

既発表の報告・論文・文献・作品等のリスト

① 主な論文

- ・カワラヒワ・ブッポウソウ等の生態研究
  - ・カッコウの托卵生態と進化に関する研究
- ※Science 誌(1998年)、nature誌(2000年)
- ・ライチョウの生態と保護に関する研究

② 主な書籍

- ・戸隠の自然 (信濃毎日新聞社)
- ・軽井沢の自然 (信濃毎日新聞社)
- ・千曲川の自然 (信濃毎日新聞社)
- ・歩こう神秘の森戸隠 (信濃毎日新聞社)
- ・甦れ、ブッポウソウ (山と溪谷社)

※2005年第51回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選定

- ・ライチョウが語りかけるもの (山と溪谷社)
- ・二万年の奇跡を生きた鳥 ライチョウ (農山漁村文化協会)
- ・ライチョウを絶滅から守る! (しなのき書房)
- ・カッコウの托卵: 進化論的だましのテクニック (訳書、地人書館)
- ・野鳥の生活 森に棲む鳥 (遊行社)

中村浩志（なかむら ひろし）

1947年1月12日生まれ 長野県坂城町出身

1969年 信州大学教育学部卒業

1974年 京都大学理学部大学院修士課程修了

1977年 京都大学理学部大学院博士課程修了

1980年 信州大学教育学部助手

1986年 信州大学教育学部助教授

1992年 信州大学教育学部教授

2000年 ライチョウ会議議長

2006年～2009年 日本鳥学会会長

2012年 信州大学名誉教授

2015年 一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所代表理事

学位 理学博士

専攻 鳥類生態学

#### 賞歴

2002年 第11回山階芳磨賞

2011年 日本鳥類保護連盟環境大臣賞

2015年 国土交通大臣賞

2019年 信濃毎日新聞社 信毎賞

2021年 日本鳥類保護連盟常陸宮総裁賞

2021年 安藤忠雄文化財団賞

2022年 日韓国際環境賞